

諏訪大社下社 周辺のみどころ

諏訪大社下社秋宮・秋宮

全国に分社がある諏訪神社の総本社。御神木を拝む自然信仰。大祭・御柱祭が有名。下社（秋宮・春宮）の七不思議など神秘的な言い伝えが数多くある。

万治の石仏

春宮近く、田んぼの中に鎮座する阿弥陀如来の石仏。岡本太郎画伯が絶賛した石仏として有名。春宮の大鳥居建立に関連しての謎めいた伝承も諸説ある。

慈雲禅寺

妙心寺派臨濟宗の古寺。戦国時代に焼失の難にあったが、武田信玄の援助のもとに復興した。また、境内に樹齢およそ400年といわれる名木「天桂松」を有する。

矢除石

慈雲禅寺へと続く石段脇にある大石。伝説では、武田信玄が仰ぐ天桂和尚がこの石に立ち、弓の名手に矢を射させたが、すべて石にはね返されてしまったといわれている。

竜の口

中山道の街道筋、慈雲禅寺登り口の脇にある。昔、中山道を行き交う人々がこの水で喉を潤し、慈雲禅寺を詣る際は口をすすぎ清めて石段を登り、参拝したといわれる。

下馬橋

春宮参道の真ん中にある太鼓橋で、下社で最も古い建築物。昔はここで、駕籠や馬から降り、身を清めて参拝した。大社の遷座祭では神の神輿に際ってこの橋を渡る。

青塚古墳

諏訪地方最古の前方後円墳。県指定文化財。

今井邦子文学館

入館料200円
宿場の茶屋、「松屋」を復元した建物に、女流歌人・今井邦子の文学の足跡を展示。

本陣岩波家

入館料400円
江戸時代大名・公家などの宿となった家。武家茶屋、庭園などが残されている。宿場を統括する機能もあった。

歴史民族資料館

入館料200円
江戸時代の宿場の面影を残す、間口が狭く奥行きが長い特徴的な民家を資料館に。下諏訪宿に関する資料の展示がされており歴史に触れられる。

諏訪湖時の科学館 儀象堂

東洋のスイスと呼ばれたこの地方ならではの時計の科学館。世界にひとつしかない中国・北宋時代の水駆動による大型天文時計装置。「水運儀象台」を復元展示。オリジナル時計の組み立ても人気。

諏訪湖オルゴール博物館 奏鳴館

かつて世界一のオルゴール生産を誇った下諏訪町。癒しの音色とオルゴールの歴史が楽しめる。オリジナルオルゴールの組み立て体験コーナーは楽曲多数。ギフトも充実。

大人 1200円（各館入館料 大人 800円）
小中学生 600円（小人 400円）

2館共通チケットでお得

温泉銭湯 P 駐車場
温泉足湯 トイレ

共同浴場入浴料金
大人 220円
小人 110円

お問い合わせは
下諏訪町友之町駐車場
0266-27-0005
下諏訪町地域開発公社
0266-27-1111

